今号の主な記事

2面　イカ釣り漁船が八戸港と小木港から北太平洋の漁場へ向けて出港

3面　新潟県新発田市の中学校で船と船員の仕事を伝える

船員しんぶん

◆ホームページアドレスhttp://www.jsu.or.jp◆Eメールアドレスkaiin@jsu.or.jp

全日本海員組合発行第3087号（昭和25年8月24日第三種郵便物認可）

2025年（令和7年）6月5日

本紙は毎月5・15・25日発行

〒106-0032 東京都港区六本木7丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人　齋藤　洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-6910-5339

定価1部50円
（組合員の購読料は組合費に含む）

船員を目指そう！ フェリーあい体験航海！

和歌山県白浜町立第一小学校、第二小学校の児童32人

6月3日、和歌山県和歌山市で体験乗船を通じて海や船に親しんでもらうことを目的として本組合の大阪支部が企画・主催した「船員を目指そう！フェリーあい体験航海」を開催し、和歌山県白浜町の白浜町立第一小学校6年生22人と、白浜町立白浜第二小学校6年生10人が参加した。

後援として、白浜町教育委員会、近畿運輸局、近畿海事広報協会、近畿旅客船協会、そして南海フェリー株式会社の全面協力の下、関西地方支部管内執行部と職場委員が中心となり実施した。

フェリーあい

和歌山港と徳島港を結ぶ フェリーあいに乗船

子どもたちが楽しみにしていた「フェリーあい」の体験航海の日は、あいにくの雨だったため、開会式はフェリー乗船口付近の待合所で行った。開会式では、平岡英彦中央執行委員が「今日は、実際にフェリーに乗船して、操舵室見学やロープワークなどさまざまなイベントが体験できます。今日一日、けがのないよう楽しんでほしい」と主催者代表あいさつをした後、三浦真一近畿運輸局海事振興部次長、小林敏二南海フェリー株式会社代表取締役社長それぞれからあいさつが述べられた。

続いて、児童代表の西山芽依さんからあいさつがあり、平岡英彦中央執行委員からは、記念の帽子を贈呈した。その後、児童たちは3班に分かれ、南海フェリーの「フェリーあい」に乗船し、さまざまなイベントを体験した。

「フェリーあい」の出港時には、橋本結陽さんが児童を代表して船長の制服を身にまとい、子ども船長として出港の号令や出港後の操舵指示を出すなど船長の手伝いを行った。また、操舵室見学では、児童たちは乗組員からレーダーや船内指令装置などの説明を受けると、双眼鏡を手に、遠くの船や景色を確認した。

ロープワーク体験では、船の作業で基本となる「巻き結び」「本結び」「もやい結び」を教わり、児童たちは上手に結べるよう真剣に取り組みながら楽しく学び、全員が結び方をマスターした。

また、班対抗のクイズ大会では、海や船に関する問題が出され、児童たちは班の仲間と真剣に考え、問題に答えた。

操舵室見学、ロープワーク体験、クイズ大会、3つの体験学習を終えた後、「フェリーあい」の清水良洋船長からあいさつをいただいた。その後、クイズ大会の結果発表が行われ、なんと二つの班が全問正解したため、最後はジャンケン大会で順位を決めるなど、大いに盛り上がった。

その後の入港準備では、坂口明日馬さんが児童を代表し、子ども船長として操舵室で船長業務を手伝った。

フェリーが和歌山港に着桟した後、船内で昼食を済ませ、閉会式を行った。浦隆幸関西地方支部長が「今回の体験乗船を通じて、皆さんが中学生、高校生になり進路を決める際、船員職業を一つの選択肢にしていただきたい」とあいさつした後、児童代表の中村光希さんと白浜町立白浜第一小学校の嶝口智一校長先生からお礼の言葉が述べられた。最後に児童全員に記念品が手渡され下船した。

児童たちは、一日お世話になった感謝を込め「フェリーあい」の出港に全員で手を振って見送り、体験乗船を終了した。

三浦真一近畿運輸局 海事振興部次長　平岡英彦中央執行委員　嶝口智一校長先生　小林敏二南海フェリー 株式会社代表取締役社長

操舵室見学

全国発信記事

八戸支部＝発信

北太平洋の漁場でムラサキイカを狙う

青森県八戸港と石川県小木港から イカ釣り漁船が出港

風薫る5月5日、五月晴れの祝日（子どもの日）に、大漁旗をはためかせて、八戸港から中型イカ釣り漁船の船団が出漁した。北太平洋の漁場でムラサキイカの豊漁を目指す出漁で、岸壁は見送る人々の声と和太鼓の演奏であふれた。八戸市魚市場の、主力魚種の水揚げ量は、10年前と比べサバが84％減、イカが71％減と不漁が続いている。不漁が長引くスルメイカから、安定した漁獲が見込まれるムラサキイカに切り替えることで、豊漁が期待されている。

八戸地区の中型イカ釣り漁船は5月5日に11隻、7日に2隻、11日に5隻がムラサキイカ漁に向け出港した。

5日に行われた株式会社ヤマツ谷地商店の出港セレモニーでは、景気付けに和太鼓が演奏され、組合員の家族や関係者が集まり、記念撮影が行われるなど賑やかな雰囲気に包まれた。

各船は正午を過ぎると汽笛を鳴らし、演歌が流れる中、五色のテープをなびかせながら出港し、見送りに来た家族は岸壁越しに「行ってらっしゃい」や「気をつけて」と、声をかけ見送った。

近年、スルメイカ漁が不漁のため、ムラサキイカ漁に対する期待が大きくなっている。日付変更線付近まで約10日間航行し、2カ月間程度操業を行い、7月下旬から8月上旬に帰港する予定となっている。

全国発信記事

北陸支部＝発信

北太平洋のアカイカ漁に期待

晴天の中、時折り吹く風が心地よい5月8日、石川県漁業協同組合小木支所所属の中型イカ釣り漁船「第88興洋丸」と「第31永宝丸」「第86永宝丸」が、家族や知人、漁業実習生仲間の見送りを受け、北太平洋東沖でのアカイカ漁に向けて、石川県鳳珠郡能登町の小木港を出港した。

近年、日本海でのスルメイカ漁は、海水温の上昇や海況変化の影響などで、不漁が続き、昨年は過去最低の水揚げを記録した。今季は2社2隻がイカ釣り事業から撤退するなど、国内有数のイカの水揚げを誇った小木地区の中型イカ釣り船も7隻となった。

出漁にあたって船主や漁業関係者はアカイカ仕様のための艤装や燃料油などのかさむ経費に、不安を払拭できずにいる状況にあるが、スルメイカ不漁の巻き返しを図るべく重要な位置付けとし、日本から3000～5000キロ離れた漁場で活路を見出そうとしている。

5月5日には「第58金剛丸」「第68栄成丸」が出漁した。小木地区の残る2隻は6月から日本海へ出漁する。

漁業協同組合小木支所の山下久弥運営委員長（第58金剛丸船主）は、「北太平洋のアカイカ豊漁への期待はもちろんのこと、何よりも乗組員の健康を第一とし、事故のない安全操業を願っている」と出漁にあたって激励した。

※アカイカ＝ムラサキイカ
　アカイカ＝和名
　別名でムラサキイカという

新発田市立川東中学校

中学2年生の授業で 船と船員の仕事を伝える

全国発信記事

新潟支部＝発信

船の仕事を説明する佐渡汽船の中川貴史職場委員

出前授業のようす

ジェットフォイル・つばさ

おけさ丸

新潟支部は、北陸信越運輸局から、船と船員の仕事に関する出前授業の講師依頼を受けて、5月21日、新潟県新発田市立川東中学校2年生31人の生徒に、船と船員の魅力を伝える授業を実施した。講師は浅野忠行新潟支部長と中川貴史佐渡汽船株式会社海上部門職場委員が担当した。

学校での授業は5時限目に浅野忠行新潟支部長から「海運の重要性」として社会科授業と併せ、国民生活に欠かすことのできない貿易貨物の輸出入とエネルギー資源の海上輸送、船員職業の魅力と厳しさ、女性船員の活躍などを伝えた。

6時限目は中川貴史佐渡汽船職場委員から「船で働く」と題し、佐渡汽船におけるフェリーやジェットフォイルでの船内作業や居住設備・供食体制などを、プロジェクターでの写真や動画を活用し詳しく説明した。

授業中に生徒からは、①船で働く上で大変なことや重要なことは何か。②船酔いしないための方法を教えて欲しい。③外国との貿易量の99%を船が運び、他の輸送手段に比べエコであることを初めて知った。④海運や船のことはイメージしにくいが、写真や動画で説明してくれたので理解できた。将来はディズニークルーズに乗ってみたい。⑤小学校の修学旅行で利用した一番身近な佐渡汽船の船の仕事を教えてもらったので、次に佐渡汽船に乗船するときは、もっと興味を持ち乗船したい。―などの質問や感想が寄せられた。

最後に生徒代表から授業に対するお礼が述べられ、中学校での船と船員の魅力を伝える出前講座を終了した。

外国との貿易量の99%を船が運び 輸送手段もエコロジーだと知った

布津町漁業協同組合

漁業技能実習生へ 労働関係法令講習を実施

全国発信記事

長崎支部＝発信

実習生との集合写真

5月14日、長崎県南島原市の布津町漁業協同組合2階会議室で、新たに入国したインドネシア人技能実習生3人に労働関係法令講習を行った。

講習は実習生の元気な自己紹介に始まり、長崎支部の執行部が講師を務め、①全日本海員組合の活動内容②インドネシアと日本の文化や習慣の違い③給料その他の報酬・安全衛生などの労働関係法令④災害補償⑤船内秩序⑥ライフジャケットや安全保護具の着用義務―などについて講習を実施した。

これから技能実習生は陸上での座学講習を経て、実際に漁船に乗船し、漁業技術や知識の取得に向けた実習を行っていく。

講習の最後に、各地区で発生している技能実習生の失踪や事故の実例を示して、脱船逃亡は絶対にしてはならないことと、病気やケガをすることなく、実習期間を満了し、母国へ帰れるよう頑張ってほしいと激励し、困ったことや相談したいことがあれば、いつでも海員組合に連絡するよう伝え、講習を修了した。

講習のようす

2025年6月5日
中央選挙委員会　議長　齋藤　洋

第40期全国委員・補充選挙の告示

規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第40期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。

一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員
《選挙単位コード・単位名》　企業単位　096　高松地区汽船グループ　1名

二、補充選挙の実施日程
立候補届出期間　2025年6月5日より　2025年6月14日まで
候補者告示　2025年6月15日
投票期間　2025年6月15日より　2025年7月14日まで
当選人告示　2025年7月15日（予定）

三、補充選挙の被選挙人
（1）企業区
全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示日に補充選挙を行う企業単位に所属する完全資格組合員とする。

四、立候補の届け出
立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定める様式に基づく立候補届を担当地区選挙委員会へ提出すること。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先
中央選挙委員会事務局（総務部）

以　上

対馬丸記念館で戦後80年の企画展

疎開船「対馬丸」の悲惨な経験を語り継ぐ

2025.6.14 木
▼
2025.8.31 日

対馬丸記念館
1階 企画展示室

【協力団体】
戦時遭難船舶遺族会、戦没船を記録する会、戦没した船と海員の資料館 他

【後援】
（株）沖縄タイムス社、（株）琉球新報社、琉球放送（株）、NHK沖縄放送局、琉球朝日放送（株）、沖縄テレビ放送（株）

展示内容
戦時撃沈船舶の紹介（船舶名、撃沈の日時、場所、書籍、証言、犠牲者名簿など）

※展示期間中講話・映写がある場合は見学が制限される場合がございますのでご了承ください

関連企画

1 講演会（企画展示室内）
- 6/21 土 14:00～16:00　「戦没船を記録すること」　平山 誠一氏（戦没船を記録する会）
- 7/12 土 14:00～16:00　「沖縄関係戦没船調査について」　大城 敬人 氏（戦時遭難船舶遺族会事務局）
- 8/30 土 14:00～16:00　「戦没船生存者の体験講話」（調整中）

2 映写会（企画展示室内）
「海なお深く一戦没船と船員の記録一」他

【お問い合わせ】
対馬丸記念館　〒900－0031　沖縄県那覇市若狭一丁目25番37号　Tell：098-941-3515　Email：info@tsushimamaru.or.jp

対馬丸記念館

太平洋戦争最中の昭和19年7月、サイパン島の日本軍が全滅し、いよいよ沖縄が戦場となる危険が大きいと判断した政府は沖縄県や奄美大島・徳之島のお年寄り・子ども・女性を島外へ疎開させるよう指示を出しました。

政府の指示に従い、沖縄県は「沖縄県学童集団疎開準備要綱」（沖縄県の子どもたちを県外へ集団で疎開させる準備の決まり事）により学校単位で疎開事務をすすめます。多数の兵士が沖縄に移駐し大量の食糧が必要になり、民間人を県外へ移動させることが急務だったのです。

当時、沖縄・鹿児島間の海域にはアメリカ軍の潜水艦が出没し、日本の船が攻撃を受け沈められていたため、親たちはとても心配しました。

しかし、一方で沖縄にとどまればアメリカ軍の攻撃を受ける危険もあると考えました。疎開をさせる当日、那覇港に待っていたのは、対馬丸をはじめとする貨物船3隻と2隻の護衛艦で、親たちはこれら5隻からなる「ナモ103船団」を不安な気持ちで見送ったのです。

対馬丸は、民間徴用船で1944年（昭和19年）8月21日、疎開船として那覇市内の学童約800人、一般疎開者、船員など合計1788人を乗せて那覇港を他の2隻の疎開船と共に護衛艦2隻に護衛され長崎に向け出港しました。

翌22日の夜、鹿児島県悪石島付近で米国潜水艦ボーフィン号の魚雷攻撃により沈没。およそ1500人の尊い命が犠牲となり、生き残った約280人も命の危険にさらされました。「対馬丸記念館」は、この悲惨な体験を通じて、「戦争からは何も生まれない」と伝え続けています。

戦後80年企画展には、全日本海員組合関西地方支部内の「戦没した船と海員の資料館」も協力団体として参画し、6月21日（土）は、全日本海員組合の元中央執行委員の平山誠一さんが「戦没船を記録すること」を講演する予定です。

戦没した船と海員の資料館

全日本海員組合が、二度と海を戦場にしてはいけない、このような悲劇を繰り返してはならないという思いから「海員不戦の誓い」のもと、海の平和を希求する運動を展開し、2000年（平成12年）8月、兵庫県神戸市の全日本海員組合関西地方支部内に「戦没した船と海員の資料館」を開設しました。今なお海に眠る船員の先輩諸氏の追悼とともに、過去の悲劇を風化させないよう平和の尊さを後世に伝えています。「戦没した船と海員の資料館」の入館料は無料で、開館時間は平日の午前10時～午後4時です。